

平成 29 年 11 月 22 日

第 7 回ユニバーサルフロアホッケー九州大会報告書

報告者：安部尚哉

## 1、大会概要

- ①日時 平成 29 年 11 月 19 日（日） 8：00～17：00
  - ②場所 熊本学園大学体育館  
〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江 2-5-1
  - ③参加チーム 13 チーム 約 180 人  
1 チーム障害のある方 3 名以上のユニバーサルチーム)  
熊本県 9 チーム・福岡・佐賀・大分・鹿児島各 1 チーム
  - ④参加資格 小学校 4 年生以上（小学生の参加はシニアチームのみ）
  - ⑤参加費 1 チーム 5000 円と 1 人 500 円（保険と運営費）  
お弁当注文：一人 500 円
  - ⑥主催 NPO 法人日本フロアホッケー連盟
  - ⑦主管 熊本県フロアホッケー連盟
  - ⑧運営 第 7 回ユニバーサルフロアホッケー九州大会 実行委員会
- ※後援、役員は添付資料参照

## 2、スケジュール

- 05：00 SMIS 集合
- 05：15 出発 高速使用（大分 IC）
- 06：30 山田サービスエリア（OPEN7：00～）
- 07：10 広川サービスエリア 朝食購入
- 08：15 熊本学園大学到着（8：05～ヘッドコーチミーティング間に合わせ）
- 08：30 受付・開会式（体操は各チームで）
- 09：15 第 1 試合開始  
AM:デビジョニングマッチ 3 ライン
- 09：40 スマイス FHC VS 小国支援グリーン
- 10：30 スマイス FHC VS サンフラワーズ B（菊池支援学校）
- 10：50 昼食
- 11：45 午後の試合開始 PM:デビジョンに分かれ試合
- 12：30 スマイス FHC VS ティラノサウルス
- 15：15 スマイス FHC VS サンフラワーズ B（トーナメント決勝）

- 16：15 閉会式  
後片づけ
- 17：15 熊本学園大学出発 高速使用（熊本 IC）
- 18：45 山田サービスエリア  
夕食・お土産購入
- 19：45 出発
- 21：15 SMIS 到着

### 3、参加

チーム名：スマイス FHC（スマイス・フロアホッケークラブ）

選手：14名

スタッフ：4名（選手兼スタッフ1名）

ユニフォーム：無（当日ビブスレンタル）

	氏名	ふりがな	年齢	性別	障害の有無
1	安部 有志	あべ ゆうじ	14	男	有
2	藤塚 大雅	ふじつか たいが	16	男	有
3	園田 知波	そのだ ちなみ	28	女	有
4	池永 有弥	いけなが ゆうや	20	男	有
5	安部 尚哉	あべ なおや	34	男	無
6	園田 悠	そのだ はるか	30	女	無
7	伊吹 正	いぶき ただし	55	男	無
8	浅野 歩己	あさの あゆみ	21	男	無
9	坂元 裕哉	さかもと ゆうや	21	男	無
10	稲田 千恵子	いなだ ちえこ	45	女	無
11	八多川 由紀	はたがわ ゆき	45	女	無
12	小野 琴音	おの ことね	19	女	無
13	麻生 明日香	あそう あすか	26	女	無
14	渡邊 友紀	わたなべ ゆき	33	女	無
15					
16					
(チームスタッフ)			(役割)		(選手兼)
1	岡本 依大	おかもと よりお	大分県FH連盟会長		
2	岩波 一彦	いわたみ かずひこ	大分県FH連盟事務局長		
3	安部 尚哉	あべ なおや	ヘッドコーチ		兼
4	菅 嘉子	すが よしこ	チームサポーター		

## 4、試合

AM：デビジョニングマッチ

PM：各デビジョンによる試合

デビジョン A 3チーム総当たり

デビジョン B 3チーム総当たり

デビジョン C 4チームトーナメント

デビジョン D 3チーム総当たり

スマイス FHC 試合

09：40 スマイス FHC VS 小国支援グリーン

2対2 引き分け

10：30 スマイス FHC VS サンフラワーズ B (菊池支援学校)

1対1 引き分け

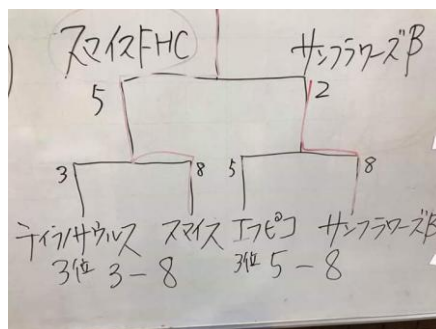
(デビジョン C)

12：30 スマイス FHC VS ティラノサウルス

8対3 勝ち

15：15 スマイス FHC VS サンフラワーズ B (トーナメント決勝)

5対2 勝ち デビジョン優勝決定



試合前の準備について

防具の着用などに時間がかかる為、試合開始前 15 分ぐらいにはピッチの横にいき、防具の着用を行った。

アップについて

午前の最初や、午後の最初には体操ストレッチを行う。また、その場で出来る動的ストレッチや、アジリティを取り入れた動作などを行い、試合の準備を行う。

クールダウンについて

試合ごとに、軽いストレッチを行い、疲れを残さないように努めた。



## 5、費用

### 支出

ETC 高速料金(休日)	3400	2	6800
通常高速料金	4850	2	9700
大会参加費(チーム)	5000	1	5000
お弁当代	500	16	8000
保険代	500	14	7000
ドリンク 500ml		16	1343
ドリンク 2L		4	548
氷		2	498
補食			988
膝当て		14	16366
クーラーボックス		1	6999
夕食代		14	11020
土産代			2808
雑費			2357
合計			79427

### 収入(参加利用者分)

お弁当代	500	3	1500
保険代	500	4	2000
合計			3500

収入 3500

支出 79427

合計 75927

## 6、総括

初めての公式戦の参加だったが、怪我もなく無事に終わることが出来た。また、結果もデビジョン優勝を飾り、参加利用者の大きな自信へとつながったのではないだろうか。

スケジュールに関しては朝早くから集合、出発。夜も遅くの到着、解散となったが想定していたスケジュールの範囲で収まっている。利用者に関しては走行中の車の中では寝ることが出来ず、少し負担も大きい部分もあるが気分が悪くなることもなかった。熊本であ

れば、当日のみのスケジュールで行動できるが、これより遠方となると、移動手段や前泊の検討も必要なる。

試合では練習時より、防具を着用していたため、装着の戸惑いや、プレー中の違和感もなく試合を行う事ができ、練習の中で行った事が試合に活かしていた。試合中の運動量は意外と多く、また、プレーも激しい部分もあったため、普段運動する習慣の無い選手（スタッフ）には苦しい様子も見られた。

また、事前の周知の部分では、スマイス内の部署間の連携が上手く取れていない部分もあり、スケジュールについての不満なども上がっていた。これに対しては、主催者側の情報も不足していた部分があり、事前に上手く提示出来ていない部分もあった。

さらに、課題として活動に対しての理解、共有というところがあげられる。メンバー構成をはじめとして活動に対しての不満なども見られている。部署やサービス領域の違いで、参加に対しての温度差もあり、それが不満として表出する部分もあった。もう一度、活動の目的や意義を確認し、目指すべきビジョンを法人全体で共有していく必要がある。非営利活動としての位置づけの為、仕事以外での拘束があるが、皆がポジティブに捉え、盛り上げていかなければ、利用者や地域に良い影響を与えることは出来ないのではないだろうか。そればかりか、職員間での軋轢が生まれるのであれば、元も子もないのではないか。やはり、法人全体で盛り上げる意識があってこそその活動だと感じる。

大会が終わり、参加児童が、学校や保護者に楽しそうに話したことで、送迎時に、参加児童が「とても良い表情をしていた」「自信になっていた」と、保護者や学校関係者から話を聞く機会もあった。フロアホッケーを通し、いろいろな経験と自信をつけることができる良い事例となっている様子もうかがい知ることが出来た。

私個人としては、とても楽しく、有意義な大会参加だと感じた。

## 7、来年に向けて

- ・ 8：00～のヘッドコーチミーティングに間に合わなかった為、ヘッドコーチは8時前には到着出来ると良い。
- ・ ユニフォームを作成が間に合わず、ビブスレンタルにて試合を行った。ユニフォームを作成し、揃えて出場できると良い。